

理事会議題

日時 2015年11月10日 PM18:00～19:50

場所 NSA事務局

1. 2016年度主催大会開催地の決定について

- ① 第34回全日本級別サーフィン選手権大会(2016)

開催場所：静岡県磐田市豊浜海岸

開催日：2016年5月20日(金)～22日(日)

- ② 第24回ジュニアオープンサーフィン選手権大会(2016)

第13回マスターズオープンサーフィン選手権大会(2016)

開催場所：千葉県長生郡一宮町釣ヶ崎海岸(志田下)

開催日：2016年6月17日(金)～19日(日)

- ③ 第51回全日本サーフィン選手権大会(2016)

開催場所：愛知県田原市赤羽根町大石海岸 その他

開催日：2016年8月23日(火)～28日(日) 予備日29日(月)

※トライアル及び開会式は前日23日(火)

- ④ 10th ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2016

開催場所：静岡県下田市白浜海岸

開催日：2016年10月29日(土)～30日(日)

注) TOTO、スポーツ振興基金等で正確な見積もりが必要になります。11月中には設営業者、宿泊費などの見積もり(相見積等)が必要になります。新規事業等も必要になります。

2. 9th ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2015について

- ・日時 10月24日(土)から25日(日)
- ・場所 宮崎市日向市お倉ヶ浜海岸
- ・大会結果
- ・立山ジャッジ委員長、津田臨時運営委員長からの報告
- ・エントリー状況 268名中224名(うち補欠31名)
- ・2015年度は補欠エントリー制度を導入しました。(未入金2名)
2013年出場枠 268名 欠員64名 24%
2014年出場枠 268名 欠員79名 29.7%
2015年出場枠 268名 欠員44名 16.4% 224人
- ・大会予定 エントリー確認 10月25日 AM 7:00～AM7:30
開会式 AM8:00～AM8:30
競技開始 AM8:30 終了予定 PM4:30

エントリー状況

今回、欠員に対して補欠で補充しましたがまだ欠員があります。

対応策の検討をお願いします。(出場枠の調整、ローカル枠の採用等)

- ・ビギナースクールコンテストからキッズスクールコンテストに変更になりました。

10月25日(日)12時00分スタート15時30分終了

日向市サーフィン連盟協力 受講料 3,000 円（保険料込）、メダル 4 位まで

受講者数 13 名 募集先 日向市サーフィン連盟

指導員 1 名、井本 公文(コーチ)、ジャッジ 3 名

運営 酒井理事長、飯尾でした。

講評 中学生以下で実施、両親等の熱心な応援の中でコンテストを含むコーチングを行った。

受講者は 1 級から 5 級まで入り混じって行き新たな形になればよいと思う。日向市サーフィン連盟でも大会だけでなく、地元に貢献できるイベントで好評であった。

・公認サーフィンスクールが一定の地域(協力店)の利用しかありません。新しい公認サーフィンスクールの形を検討すべきではないでしょうか。

・11 月初旬には九十九里海岸でスクール中に死亡事故も発生しています。

状況 海浜利用等で荒天時の実施や受講者の体調管理不足の問題もあるでしょう。

日本サーフィン連盟として、指針が必要ではないでしょうか。

3. 2015 VISSLA ISA World Juniors Surfing Championship について

大会期間 2015 年 10 月 11 日～18 日

場 所 アメリカ カルフォルニア オーシャンサイド

大会結果

マネジャー 吉永修理事からの報告

コーチ 井本 公文理事からの報告

4. 2020 東京オリンピック及び ISA 方針について

酒井理事長からの報告

5. 関係団体との協議報告について

宗像副理事長からの報告

6. 2020 東京オリンピックまでの連盟対応について

マスコミ等の質問で「サーフィン競技の難しさがについてわかりやすい説明が問われています。」

2020 年東京オリンピックまでに一般の方がサーフィン競技に理解度を増す対策について

・わかりやすいサーフィンの技の説明

a. イヤーブックに記載について(別冊の検討)

b. フライヤーやポスターの作成(協力店配布)

・主催大会及び公認大会の周知について

a. MC に主催大会及び公認大会で技及び競技の説明を分かりやすい統一説明する。(共通認識)

b. ライブ中継などに技や競技の説明をする。

・イヤーブック等に掲載の検討について

a. サーフィン競技のわかりやすい説明

b. サーフィンの技のわかりやすい説明

・新規賛助会員制度の検討

目的は東京オリンピックでサーフィン競技を支援する会員

- ・オリンピックスポンサーについて

a.2016 年度以降の一般企業の協賛についての検討

7. 2016 年度新規事業予算について

2015 年度 正会員数 10,152 人(重複含まず) オープン会員 2,110 人(11月2日現在)

2016 年度 会員予想 正会員 ? 数、オープン会員 ? 数

A. 普及及び対応策について

- ① サーフィンの技の説明について
- ② MC による技の説明及び競技説明(共通認識)
- ③ 上記の内容踏まえたフライヤーやポスターの作成(協力店配布)
- ④ ライブ中継などに技や競技の説明を必須とする。
- ⑤ イヤーブック等への掲載検討について

- ・サーフィン競技のわかりやすい説明
- ・サーフィンの技の紹介

B. 新規賛助会員制度の検討

- ・目的は東京オリンピックでサーフィン競技を支援する会員

C. オリンピックスポンサーについて

- ・2016 年度以降の協賛についての対応
- ・一般企業の参加について

D. 連盟内での国際ジャッジ育成、コーチ育成等の支援体制について

8. 登録チームの精査について

現状ではチームリーダーと支部長からの削除要請がある場合には、チームを削除しています。

問題点

- ・連盟及び支部長がチームリーダーと連絡取れず、チーム員の登録ないチームに対しての削除の検討

9. NSA 会員が有料のファンクラブを運営する事について

10. 2015 ISA World Bodyboard Championship 参加について

開催日時 2015 年 12 月 6 日～13 日

場所 チリ、イキケ

参加選手